

12月1日は世界エイズデー

令和6年度世界エイズデーキャンペーン

テーマ「U = U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。」

令和6年度は、岐阜市内の中学、大学、専門学校計6校がレッドリボンフラッグ作成に参加されました。各校それぞれの思いが込められたフラッグとメッセージをご紹介します。

掲示期間: 令和6年11月16日(土)～12月10日(火)

掲示場所: 岐阜市神田町通り(神田町5丁目の交差点付近)



岐阜市立看護専門学校

フラッグに込めたメッセージ

ひとつひとつのリボンに各々のメッセージを込めて作成しました。みんなの想いをひとつのハートに込めました。その想いが少しでも多くの人に届きますように…これを見て、多くの人に希望を与えられますように学生一同願っております。そして、少しでも多くの方がAIDSへの理解・協力を繋がるよう信じております。私たちも看護学生として責任ある行動を心がけていきたいです。



岐阜市立女子短期大学 美術部

フラッグに込めたメッセージ

今回のテーマは「U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。」ということで、2人の握手によって互いを知ること、リボンのハートで繋がりを広げていくことを表現しました。不安による偏見をなくすには、知ることが第一です。世の中がこの旗のように手を取り合って、誰も悲しむことがなくなることを祈っています。



**🎗️ 岐阜聖徳学園大学
附属中学校**

フラッグに込めたメッセージ

繋ぎ合う手は絆を表しています。エイズに感染した人への偏見を無くし、エイズになってもその人との絆や関係は変わらない。そんな世の中になることを願ってこのように描きました。

あなたはエイズに関する偏見を持っていませんか？
もう一度、正しい情報を確かめて見てください。



🎗️ 岐阜市医師会看護学校

フラッグに込めたメッセージ

私たちは看護師を目指して看護学校で学んでいます。その中で、生命の尊さを改めて実感し自分たちが接する人々が少しでも幸せな日々を送れるようになるためにできることはないかを考えています。私たちが作成したレッドリボンフラッグを目にした人がエイズへの関心を持ち正しい知識を得て少しでも偏見が無くなればとの思いで取り組みました。



**東海学院大学
管理栄養学科 臨床検査**

フラッグに込めたメッセージ

臨床検査技師を目指す学生として、エイズについての正しい認識が多くの人に広まり、差別や偏見のない世界が広がるようにと、一つひとつのリボンに願いを込め、ハート型のレッドリボンを作成しました。

今回作成したエイズフラッグをきっかけに、「U=U」という言葉を知ってもらい、多くの人々のエイズについて考えるきっかけになればと思います。



**東海学院大学
管理栄養学科 臨床検査**

フラッグに込めたメッセージ

正しい知識を身につけて少しでも多くの人に知ってもらいたい、エイズに関して偏見をもたずエイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージが込められています。

手を描いた理由は手=心をイメージしていて、手を広げてるのは素直な自分になって欲しい、誰かではなく一人一人が気をつけて欲しいという理由が込められています。



岐 阜 大 学 医 学 部 看 護 学 科 ピアカウンセリング同好会

フラッグに込めたメッセージ

U=U は適切な HIV 治療を受け、血液中の HIV 量が “Undetectable”、検出感度未満のレベルにまで抑えられ、その状態が続いている HIV 感染者からは、性行為によって HIV が他者に感染することがない (“Untransmittable”) という意味を持っていますが、それを支えているように描くことで、みんなでその概念を支えていこうという思いを込めました。